

# 「Surface image system を用いた呼吸制御と 位置照合に関する検討」へご協力をお願い

—2018年6月1日～2022年3月31日において当院で左乳房に対する放射線治療を受けられた方へ—

研究機関名 公立学校共済組合中国中央病院 放射線科  
責任研究者 大原健佑

## 1. 研究の目的と意義

左乳房に対して放射線治療を行う際、肺や心臓への副作用の発生率を下げる目的として、深吸気息止め照射（Deep inspiration breath hold: DIBH）が行われます。この照射では、患者様の息止めを管理することが重要であり、それを当院で担っているのが”Catalyst”という赤外線を利用して、患者様の体表面を監視する装置となります。このCatalystを用いれば、呼吸管理だけでなく、患者様を正確な照射位置へ誘導する役目も果たし、以前のように患者様の体に直接マーカ線を引く必要がなくなりました。一方でこのCatalystによる位置照合がより正確に行えるよう基礎的検討を行い、また呼吸管理を他のシステムと比較し、その有用性を評価しようと考えています。

## 2. 被験者が被る利益・不利益

この研究に参加することによる直接的な利益はありません。また、不利益もありません。診療録から得られたご自身の個人情報は個人情報保護法に基づき厳重に管理します。

## 3. 研究の方法

### 1) 研究対象者：

2018年6月1日～2022年3月31日において当院で左乳房に対する放射線治療を受けられた患者。

### 2) 研究期間：

倫理委員会承認後～2023年3月31日

### 3) 研究方法：

当院で左乳房に対する放射線治療を受けられた患者様の治療時のポジショニングの位置精度および、息止め中の安定性および再現性を解析。

### 4) 調査票等：

研究資料にはカルテから必要な情報を抽出し使用させていただきますが、ご自身の個人情報は削除、匿名化され、情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 5) 情報の保護：

調査情報は研究責任者が厳重に取り扱います。電子情報は、パスワード等で制御されたインターネットに接続されていないコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文等にて発表する予定です。

この研究に参加を希望されない方やご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

公立学校共済組合中国中央病院 放射線科 大原健佑 電話：084-970-2121 平日9時～17時

